

おしえて

ドクター

No.70 関節リウマチの現状

関節リウマチは本来、外敵から体を守る免疫の異常によって関節に炎症が起る病気です。イメージとして炎症による痛みだけと思われがちですが、治療をしないままでは骨や軟骨、腱が破壊され、関節が変形していきます。骨の破壊が進行すると関節の骨が溶けてきたり、固まったりとスムーズに動かなくなり、日常生活にかなり支障がでてきます。かつては診断も難しく、効果のある治療法も少なく、関節リウマチは治らない病気とされてきました。

近年、三重県にも専門施設ができ、県内に数少ない専門医も少しずつ増えてきており、リウマチ診療もさらに進歩しています。例えば関節の超音波検査によって滑膜の腫れや炎症の程度を観察でき、通常の診察より精度が高く病状を評価することができます。また治療についても第1選択薬のメトトレキサート、2000年台前半に生物学的製剤、ここ数年では、JAK阻害薬といった薬が使えるようになってきました。このような治療薬の進歩に

今月のドクター 野田 健太郎 医師



総合医療センター 膠原病リウマチ内科医長

よって、関節の痛みや炎症のない状態である「寛解」へとコントロールすることができるようになりました。「寛解」という状態を維持できると関節破壊を抑えられます。このように治療を継続することによって新たに発症した人も、すでに変形が起きていた人もこれ以上関節が壊れないようにすることが出来ます。患者さんごとに年齢、合併症でどこまで治療できるかは異なりますが、関節リウマチを患っている人も普通の人と同じような生活ができ、痛みのない日常が送れるように日々治療しています。関節リウマチは治療する病気ではなく、一度寛解に至ってもそこで治療が終了するわけではありません。リウマチ治療はずっと続いていかなければならず、良い時もあれば悪い時もありません。診断、治療したら終わりではなく、専門医としてその後の人生を一緒に支え、寄り添って治療を行っていきたくと思っています。

● 総合医療センター お問い合わせは 22-11211 FAX 22-9498

すこやか情報局

11月14日は「世界糖尿病デー」～自身の状態を確認しましょう～

糖尿病とは、血液中のブドウ糖が必要以上に多い状態(高血糖)が続く病気です。高血糖が続くと、体内の細い血管が傷つき、目(\*1)や腎臓(\*2)などのさまざまな器官に問題が起こるようになります。令和元年の国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる者」の23.1%・「糖尿病を指摘されたことがある者」の34.3%が治療を受けておらず、特に「糖尿病が強く疑われる者」の40～49歳で53.8%が治療を受けていないという状況です。

糖尿病には、痛みなどの自覚症状が少ないことから、糖尿病の疑いがありながらそのまま治療をせずに放置し、重症化するという問題があります。また、糖尿病は新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい疾患でもあります。

まずは健診を受けて自身の状態を把握し、疑いがある場合は早めに受診しましょう。基準値を超えている場合は、かかりつけ医に相談などしながら、生活習慣改善に取り組むことをお勧めします。治療を中断していた人は、この機会に受診しましょう!

<糖尿病の基準値>

Table with 2 columns: 検査項目 (HbA1c, 空腹時血糖, 尿糖) and 基準値 (5.5%以下, 99mg/dl以下, - (陰性))

\*1 糖尿病性網膜症:目の細い血管に異常が生じ、眼底出血を起こすことで網膜剥離などに至り、失明することもある病気。

\*2 糖尿病性腎症:腎臓の細い血管が傷つくことで体に不要なものをろ過する機能が低下し、悪化すると人工透析が必要になることもある病気。



令和3年度バス検診(がん検診)の追加募集はありません

今年度は申込者多数のため、追加募集は実施しません。令和4年度の申し込みは、3月頃を予定しています(広報くわなや市ホームページで周知予定です)。自覚症状がある場合は、検診の機会を待たずに医療機関を受診してください。バス検診だけでなく、病院検診も実施しています。以下を参考にしてください。

Table with 4 columns: 検診項目, 費用, 対象者, 実施期間. Includes items like 大腸がん検診, 子宮がん検診, etc.

▷対象者には、個別通知を6月末にしています。紛失・転入された人は、保健医療課にお問い合わせください。

桑名いきいき健康フェスタのお知らせ

健康増進や介護予防に関連した講話や展示相談を行います。入退場は自由で、どなたでも参加できます。

- とき 12月3日(金) 午前10時～午後3時 場所 パロー桑名東店 (桑名687-1) 料金 無料
内容 【午前10時～11時】健康寿命や低栄養についての講話
【午前11時～正午】運動について、桑名いきいき体操の実演
【午後1時～2時】お口の健康についての講話
【午後2時～3時】認知症について、認知症予防運動(コグニサイズ)の実践
▷新型コロナウイルス感染対策として、マスク着用の上ご参加ください。
▷新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては中止になる場合があります。
問 東部地域包括支援センター (☎24-8080 FAX 23-6850)、保健医療課 (☎24-1182 FAX 24-3032) へ。

お問い合わせ 保健医療課 ☎ 24-1182 FAX 24-3032

= 献血にご協力ください = とき 11月10日(水) 午前9時30分～11時30分 場所 市役所 ▷献血にご協力いただける人には要件があります。

すくすく離乳食教室

子どもの成長時期に応じた離乳食・子育てに関する講話を行います。

- とき 《初期・中期》12月7日(火) 午後1時30分～3時 《後期・完了期》12月14日(火)午後1時30分～2時30分
場所 くわなメディアライヴ
料金 無料 定員 20人 (先着順)
申込期間 《初期・中期》11月15日(月)～12月3日(金) 《後期・完了期》11月15日(月)～12月10日(金)

育児相談

保健師に乳幼児の発達や発育などについて相談したり、管理栄養士に栄養に関する相談ができます。

- とき 12月17日(金) 午前10時～11時 (要予約)
場所 くわなメディアライヴ
定員 18人 (先着順)
申込期間 11月15日(月)～12月10日(金)
▷感染症拡大防止のため、少人数でお越しください。
▷当日の朝に体温を測り、マスク着用の上参加してください。発熱や風邪症状などがある人はご遠慮ください。

問 子ども総合センター ☎24-1380 FAX24-5497

土日祝日(昼間・夜間)に病気になったら

救急医療

夜間・休日に急病になった時は、診療可能な病院を24時間体制で案内します。 ※案内を受けた後、医療機関にお問い合わせからお出かけください。

- パソコンによるご案内(医療ネットみえ) http://www.qq.pref.mie.lg.jp/
携帯電話によるご案内 http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/
音声によるご案内(無料) ☎0800-100-1199
救急医療情報センター ☎059-229-1199

土曜夜間・休日は応急診療所 電話は診療時間内をお願いします。 [診療科目] 内科、小児科
日曜・祝日 午前9時30分～正午 午後1時～4時
土曜夜間 午後7時30分～9時30分

※新型コロナウイルス感染対策のため、インフルエンザの迅速検査は行いません。

小児科については、担当医の専門性により対応年齢が異なります。事前に電話で確認してください。

日曜・祝日の午後5時～10時は、当番医療機関へ事前に医療機関へ電話してください。

Table with 3 columns: 日(祝), 桑名病院, 電話番号. Lists emergency services for various dates.

